

新型コロナウイルス感染症の検査で陽性が判明した方へ

1 症状が重いとき・悪化したとき

御自身で日々の健康観察をしていただき、症状が悪化した場合等は、御自身の判断で、
身近な医療機関やかかりつけ医、又は外来対応医療機関に御相談ください。

- ・外来対応医療機関一覧（URL）

https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/shinryo_kensa.html



なお、休日や夜間等にお困りの際は、京都府療養者相談ダイヤルに御相談ください。

- ・京都府療養者相談ダイヤル（24時間対応）

075-708-7159

※京都市在住の方は、「京都市療養者相談ダイヤル」まで（050-3614-9575）

2 外出を控えることが推奨される期間

発症日を0日目として、5日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過するまで（※1）

The diagram illustrates the timeline of symptoms and recovery. It shows two tables side-by-side, each with columns for Day 0 (発症), Day 1, ..., Day X, Day X+1 (labeled '症状軽快' - symptom resolution), and Day 5 (labeled '療養最終日' - end of treatment). A red arrow points from the '発症' column to the 'X+1' column, indicating a 24-hour period of symptom resolution.

4日目までに症状軽快	0日目※ ²	1日目	X日目	X+1日目	5日目
	発症		症状軽快		療養最終日

24 時間

5日目以降に症状軽快	0日目※ ²	1日目	...	5日目	X日目	X+1日目
	発症				症状軽快	療養最終日

24 時間

※1 外出を控えることが推奨される期間にやむを得ず外出する場合でも、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底してください。

※2 無症状の場合は検体採取日を0日目とします。

3 療養中の過ごし方



発症後3日間は、ウイルス排出量が非常に多く、発症後5日間が周りの人にうつすリスクが特に高く注意が必要です。また、10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクを着用したり、高齢者等ハイリスク者と接触は控える等、配慮しましょう。

発症後10日を過ぎても咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、マスクの着用など咳エチケットを心がけましょう。

症状が重い場合（高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど具合が悪い場合）、早めに医療機関を受診しましょう。